



Welcome to Nagasaki "SARUKU" Course Map

Area **05**  
"Ryoma + Teramachi"

長崎さるくコースマップ

坂本龍馬は  
なりきって闊歩したい  
坂道の道

龍馬が見上げた長崎の空  
なごみの寺町散策①  
なごみの寺町散策②

さるくコース/1 "SARUKU" Course/1  
さるくコース/2 "SARUKU" Course/2  
さるくコース/3 "SARUKU" Course/3

長崎さるく

# 長崎流まち歩き「さるく」は3タイプ

「さるく」とは、まちをぶらぶら歩くという意味の長崎弁。このマップを入手した瞬間から自由に歩く「遊さるく」以外にも、ガイドがご案内する「通さるく」、長崎ならではの体験メニュー「長崎を味わう「学さるく」を好奇心おもむくままにご参加いただけます。

- 遊 長崎「遊さるく」→ 自由気ままに長崎散策
- 通 長崎「通さるく」→ 長崎名物ガイドツアー(予約制)
- 学 長崎「学さるく」→ 長崎ならではの体験(予約制)

## 「通さるく」「学さるく」の申込方法

ご予約申込先は2つの方法

ホームページ **さるく 検索** 

<http://www.saruku.info/>

電話 **095-811-0369**  
受付時間 / 9時~17時半 (12/29~1/3休)

コースによって内容や料金が異なります。  
詳しくは、「長崎さるく」のホームページ又はパンフレットをご覧いただくか、電話でお問い合わせください。

## 長崎さるくナビ 無料

長崎さるくの人気コースがアプリになったよ! 地図に従って散策すれば音声案内が長崎の魅力発信。ゆかりのある古写真や、近隣のショップも紹介。トイレの場所も教えてくれるよ。

- iPhone・iPadをお持ちの方**
- App Storeで「長崎さるくナビアプリ」を検索 
  - アプリ詳細説明画面で「Appをインストール」ボタンを押してください。
- Androidをお持ちの方**
- Google Playで「長崎さるくナビアプリ」を検索 
  - アプリ詳細説明画面で「インストール」ボタンを押してください。

●お問合せ / 長崎国際観光コンベンション協会 長崎さるく受付 電話 / 095-811-0369

※データはすべて平成30年3月末現在のものです。

発行 / 一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会 企画 / さるくマップ制作委員会 協力 / NPO法人長崎コンパニオンズ 編集 / 川良真理 制作 / 一般社団法人 ナガサキベータデザインセンター アートディレクション / 関本一寛 デザイン / 関本一寛 写真 / 長崎市立博物館・長崎市立パペロス文化施設 ナガサキデザイン協力 / フォトリソグラフィ イラストレーション / 中倉奈津美 表紙写真 / 山田福之

# 龍馬と寺町のキーマン

The key person of Tera-Machi



坂本龍馬  
Sakamoto Ryoma

天保6年(1835)~慶応3年(1867)  
土佐高知城下の郷士の坂本家に生まれ、27歳で脱藩後、勝海舟の塾生となります。長崎へは海舟の長崎出張の折に同行し、福濟寺に滞在しました。その後薩摩藩の庇護をうけ、長崎で日本初の貿易商社ともいえる亀山中社を結成、海援隊に発展させます。その間、薩長同盟を結ぶために奔走し実現させ、長崎では「いろは丸事件」「イカルス号事件」を解決するなど活躍します。また新国家体制の構想を示す「船中八策」を起草したのも龍馬。京都で刺客によって暗殺されましたが、その33年間の人活の中でも、長崎を拠点として活動する時期は長かったのです。

写真 / 長崎歴史文化博物館蔵

## 松平図書頭康英

明和5年(1768)~文化5年(1808)  
文化5年(1808)、オランダ国旗を掲げた船(イギリス軍艦フエートン号)が、長崎に不法入港するという騒ぎが持ち上がります。フエートン号は、オランダ人2人を人質に取り、あろうことか燃料や水、食糧を要求。欲しいものを奪い去っていきました。この「フエートン号事件」後、当時、奉行だった松平図書頭は、責任を取って切腹。その墓が大音寺にあります。

写真 / 長崎大学付属図書館蔵



隠元  
Ingen Ryuki

文禄元年(1592)~寛文13年(1673)  
興福寺の三代目住職により招かれ、承応3年(1654)に中国から長崎に渡来して興福寺の開法開山となった隠元禪師。興福寺の山門にある扁額「初登宝地」「東明山」は隠元禪師の手によるものです。4代将軍・徳川家綱にも謁見し宇治の土地を賜り、寛文元年(1661)には黄檗山萬福寺を開いて教をを広げます。その名がついた隠元豆はもちろん、印鐘、ごま豆腐、そして卓袱台(ちゃぶだい)も隠元が伝えたことされています。

写真 / 東明山黄檗寺蔵



上野彦馬  
Ueno Hikoma

天保9年(1838)~明治37年(1904)  
日本初の商業写真家として、また、金星観測や西南戦争に赴いて記録を残した報道カメラマンとしても草分け的存在。現在、幕末や明治の街の様子が写真として残っているのは、上野彦馬の大きい功績と言っていいでしょう。彦馬は、上野俊之丞の四男として銀屋町で生まれます。俊之丞は日本で初めて写真機を輸入したり、蘭書や実験器具を自宅に置いていたことから、自宅には緒方洪庵などの蘭学者が常に入居していました。そんな中で成長した彦馬も、当時確立されていなかった写真技術を自ら実験を重ねて研鑽しました。一連の成果をまとめた『密書必携』は当時の化学の教科書として大変な評判を呼び、開設した写真局も遠く上海やウラジオストクへ支店を出すほどに繁盛しました。

写真 / 長崎大学付属図書館蔵

この道を駆け抜けた白袴の若者、それぞれの運命

## 「亀山中社」



白磁の焼き物亀山焼の窯のそばで、職人たちの宿だったのではないと言われる建物を借りてスタートした亀山中社。坂本龍馬を中心とする若き志士たちが、ここを拠点に通商を行いました。記録によれば、カステラのレシピが残っているので、活動費を捻出するために、カステラの試作にもチャレンジしたのかもしれない。

一人ひとりのその後の運命を知ると、さらに興味が深まります。中島信行(後に初代集議院議長やイタリア公使)、長岡謙吉(龍馬死後、海援隊隊長を務め三河県判事に)、沢村惣之丞(海援隊となり長崎奉行所を占拠した折の誤射で切腹)、陸奥陽之助(後の陸奥宗光として外務大臣を務める)、近藤長次郎(密航計画が露見し切腹、暗合寺に墓あり)。悲劇的な最期を遂げた人、明治政府を支えた人とうまくも両極端でドラマチックなのです。亀山中社や海援隊が現代でも多くの人々の心をとらえ、この地に呼び寄せているのは、そんな理由なのかもしれません。

今では、彼らが白袴で闊歩したであろう界隈を「龍馬通り」と呼び、地元の人たちによる志士達を描いた案内版が角々に立ち、訪れるファンたちを和ませています。



## 路面電車 / 路線案内



運賃(全線均一) 大人 / 120円 小児 / 60円  
電車一日乗車券 大人 / 500円 小児 / 250円

●お問合せ / 長崎電軌(株) ●電話 / 095-845-1111

Column

## 長崎人にとってお墓で花火は常識です

このマップで紹介しているエリアは、風致地区でもある「風頭山」一帯で、その斜面を見渡せば、墓、墓、墓。寺町に軒を連ねるたくさんのお寺が守る墓地が、ほぼ全面に広がっています。

県外の観光客が長崎の墓を見て必ず驚くのが、墓石に書きこまれた金色の文字と、一軒あたりの敷地の大きさ、墓に加えて土神を祀っていることでしょうか。「なんか、派手で賑やかですよね」。「いや、これはまだ地味な方ですよ。お盆となると親戚一同が墓に集合し、盆提灯を並べてお酒を飲み、爆竹やロケット花火を上げます」と教えると、さらにびっくり。江戸時代、唐通事などの資産家は、大人数の宴席が張れるように何段ものバルコニーまで築いていたのでに比べれば、こじんまりしているのですが…

長崎人にとって、墓地は、単にお参りするだけにとどまらない、そこでくつろぎ、故人をしるんで夜まで時を過ごす場所。だから自分の家よりも眺めのいい高台にお墓を作るのが一般的です。これらは、先祖の祭祀を大切にしたい中国伝来の文化であると言われています。金文字を好んだり花火をするのもまったく同じ。一見、西欧文化が幅を利かせているように見える長崎ですが、精神の根つこの部分では中国文化の影響を色濃く残しているのです。

●新中華街で、車内についてのりつぎ券を発行します。  
●電車一日乗車券は、総合観光案内所(JR長崎駅構内)、市内主要宿泊施設などを販売しております。(電車内で販売はございません。)



Ryoma & Teramachi

# 龍馬と寺町

風致地区でもある緑豊かな風頭山と、ふもとの寺々をめぐれる健脚コース2つ

Kazagashirayama Teramachi Area

## 風頭山

### Spot 1 上野家墓地

長崎を記録し続けた名家の墓

今、私たちが目にする坂本龍馬やグラバーなどの著名人の写真は、ほぼ上野撮影局で撮られました。日本初の商業写真家として幕末から明治の長崎を記録し続けた上野彦馬、その父で長崎奉行の御用時計師を務め、肖像画(絵像)を得意とした上野俊之丞が眼る、上野家墓地。名家らしく、風頭山の石切り場に近いこの場所にあります。

### Spot 2 坂本龍馬之像

海援隊の旗をバックに威風堂々

腕を組み、袴にブーツ、視線は港の先の大海原を見つめる一人の男。全国にくつつかある龍馬像のなかでも、彼本来の自由奔放で豪放な性格を表わしているといわれており、訪れるファンも大勢います。背後にはためくのは、「二隻」と呼ばれる赤白赤の海援隊旗。長崎在住の彫刻家・山崎和國氏制作によるもので、平成元年(1989)龍馬の銅像建つうで会」により建立。今も桜の季節や命日には、像の元で龍馬をしのぶイベントが行われています。



●このマップは「さくらマップ制作委員会」で制作しました。おすすめポイントやショップもチームで検討してピックアップしたものです。  
●施設の開館時間は通常の場合で、年末年始、季節によって変動あり。●データはすべて平成30年3月末現在のものです。

### Spot 5 わかみや 若宮稲荷神社

竹芸で有名 龍馬像の原像もあり

10メートルの青竹がビヨーンとしなり、つべんには白狐に扮した若者がふたり、次々と妙技を披露して見物客は手に汗を握ります。10月14,15日の大祭で奉納される「竹芸(市指定無形民俗文化財)」で有名な若宮稲荷。参道に連なる朱の鳥居と木々の緑のコントラストが美しい神社です。龍馬のお守りもありますよ。



### Spot 6 亀山社中 資料展示場

ボランティアで運営される資料館

一見普通の民家ようですが、一歩なかに入ると大小の古写真が壁一面に!坂本龍馬をはじめ亀山社中や海援隊、幕末の志士、幕末・明治の長崎に関する古写真や龍馬の手紙の写しなど、貴重な資料が展示され、地元有志のボランティアスタッフが説明してくれます。

●開館 土・日曜、祝日10時~15時(変更の場合あり)  
●入館無料 ●095-828-1454

### Spot 7 龍馬のぶ一つ像

カメラ持参で訪れよう

このエリアのさるくで、記念写真に外せないモニュメントがこちら。龍馬のぶ一つの中に足を入れ、舵輪に手をかければ、かつて長崎から出航した龍馬や海援隊士の気分を満喫できます。平成7年(1995)「亀山社中ば活かす会」が建立し、長崎市都市景観賞も受賞しました。

●長崎市諏訪町7-28 ●095-824-0477

### Spot 8 長崎市 亀山社中記念館

当時の雰囲気 ながら貴重な資料も展示

慶応元年(1865)坂本龍馬とその同志により結成された「亀山社中」の跡。志士たちが集い、海運業や通商をいっつ、幕末・維新史において重要な役割を果たしました。老朽化した建物は専門家の調査の後、当時の雰囲気そのままに改修、復元し、平成21年(2009)に記念館としてオープンしました。館内には龍馬のブーツや羽織のレプリカ、書状の写しのほか、龍馬の等身大のポスターと共に記念写真が撮れる一角もあります。天井の隠し部屋も見逃すべからず。

●開館9時~17時  
●入館料 大人300円、高校生200円  
中学生・小学生150円  
●095-823-3400

### Spot 9 上野彦馬撮影局跡 幕末モニュメント

龍馬 なりきり写真が いい記念に!

上野彦馬が文久2年(1862)上野撮影局を開設したのは、中島川河畔の伊勢町。和洋折衷の2階建てで当時としては珍しいガラスの天井を持ち、奥行き12メートルのスタジオも備えられていました。龍馬はもちろん、高杉晋作や桂小五郎など、多くの著名人の写真が、ここで撮影されています。そこで平成22年(2010)、写真局跡の向かいに写真に見られる台座と旧式カメラを模した幕末モニュメントを設置しました。ここでタイムスリップ撮影をすれば、あなたも坂本龍馬気分?

### Spot 10 小川風店

長崎では風のことを「ハク」と言い、伝統工芸として受け継がれています。こちらは風作りの作業場と資料館が一体となっており、場内いっばいに飾られた風は圧巻。有名人も多く立ち寄っています。200円からのミニ風はお土産にもおすすめ。

●長崎市風頭町11-2 ●095-823-1928

●長崎市諏訪町7-28 ●095-824-0477



### Spot 11 光源寺

年に一回の幽霊木像 公開

光源寺といえは「船屋の幽霊」伝説。夜な夜な船を買いに訪れる女性のあとをつけていくと、この寺の墓に着き、そこに赤子がいた、つまり土葬された母親が幽霊になり子どもを育てていたという民話です。光源寺には「産女の幽霊木像」があり、毎年8月16日には公開販売し、船が配られます。本殿の背後の墓地の一面にある赤子塚には、お参りする方も。



### Spot 12 三寶寺

三寶寺の真ん前。オーナージュ夫婦で切り盛りする隠れ家的フレンチレストラン。アニバーサリーにぴったりの暮ら着いた空間でコース料理が味わえます。

●長崎通屋町5-35 ●095-827-7202

### Spot 13 料理一カ

創業文化10年(1813)。伝統を感じせる和のしつらえのなかで長崎卓料理はいかが。お手軽な昼限定メニュー一献重しっぽくもあり。

●長崎市諏訪町8-20 ●095-824-0226

### Spot 14 平野楽器店

江戸時代から続く、老舗の和楽器専門店。琴、三味線、太鼓などの販売や修理が専門。

●長崎市鍛冶屋町5-4 ●095-822-1398

### Spot 15 寺町 光源寺

三寶寺

鴨が止まらないならここで祈願

二段構えの本殿が風格ある三寶寺にお参りするなら、その右手の閻魔堂もお忘れなく。ここには「ココン婆さん」と呼ばれる像があります。三途の川で衣服をはぎとる「褌衣婆」なのですが、風邪やぜんそくに霊験あらたか「ココン、ゼーゼー」と書いた紙を貼って祈願する人もいます。

### Spot 16 皓台寺

著名人の墓をたずねて

長崎三大寺のひとつで、長崎で唯一大仏さまが鎮座し、境内の幼稚園に通う子どもたちを優しく見守っています。広大な墓域には、長崎の豪商・小曾根家の墓地や亀山社中の一員だった近藤次郎の墓、楠木タキイネの墓、オランダ商館長ドゥープの息子・道富文吉の墓などが点在しています。1で紹介した上野家の墓も、実は皓台寺の後山。多くの修行僧が住む修行の場でもあり、毎週土曜日には座禅会も行われています。

### Spot 17 大音寺

悲劇の長崎奉行の墓もあり

樹齢300年を超えるイチヨウの木や大きなクロガネモチが美しい大音寺も、長崎三大寺のひとつ。境内の本殿のそばには長崎奉行松平図書康侯の墓があります。また、明治期に長崎で焼かれたコンニャクレンガを使った中国風の門も残っており、現存するのは大変珍しいものです。かつては、歴代将軍の位牌を祀る御霊屋が建立されましたが、昭和34年(1959)の火災で焼失しました。

### Spot 18 興福寺

元和6年(1620)明の僧・真円が開創した日本初の黄檗宗の唐寺で、別名「南京寺」。二代目住職の唐僧・黙子如定は眼鏡橋を架けたことで有名。また三代目・逸然に招かれたのが、黄檗宗の開祖・隠元禪師。かくして興福寺は長崎文化の中心を担うこととなります。見上げるほどの雄大な朱色の山門(県指定有形文化財)をくぐって足を踏み入ると、堂々たる大雄宝殿が。唐寺らしい反り屋根の上には火除けの瓢箪や氷裂式組子の丸窓、なかはアーチ型の黄檗天井に日本最大の琉璃燈が下がり見どころも多く、国指定重要文化財となっています。境内には、関羽像や媽祖像が鎮座する媽祖堂、移築された中島聖堂遺構大学門もあり。時おり普茶料理の食事会や演奏会なども開かれます。境内にはソテツの大木があり、その実がオレンジのハート型であることから恋愛成就のお守りとしても人気があります。



### Spot 19 崇福寺

九州に6つある2つはここ

大雄宝殿と第一峰門の国宝2つを併せ持った大雄宝殿は、1階は黄檗様式、2階は和様式という独特の建築様式で、長崎市に現存する最古の建物。また第一峰門は四手先三葉拱と呼ばれる複雑で精巧な組紐が特徴的です。門扉の青編幅と牡丹の花も吉祥の印。そのほか、入口の竜宮門とも呼ばれている赤い三門、媽祖門、護法堂、鐘鼓



●開門8時~17時 無休  
●拝観料 大人300円、高校生200円、中学生以下無料  
●095-823-2645

### 長崎さぐる説明板

1	ラクダも歩いた長崎街道	19	福沢諭吉
2	真鶴産	20	一貫庵と光水寺
3	難町と新大工町のまちなみ	21	西川家跡
4	福沢諭吉	22	興福寺観音堂と鶴屋町
5	若宮稲荷神社	23	風頭山からの風景
6	長林平跡	24	幣振坂
7	薩摩跡	25	諏訪町通り
8	倉田水樋水源地	26	略台寺
9	長崎聖堂跡	27	幣振坂
10	上野権影馬と中島川	28	中島川の成り立ち
11	高麗橋と伊勢宮	29	えごぼた
12	木下逸雲宅跡	30	サン・アグスティン教会跡
13	玉川跡	31	大音寺
14	中島信行	32	清風亭跡
15	長岡謙吉	33	孫文先生故郷之地
16	沢村惣之丞	34	大浦いり屋宅跡
17	陸奥宗光	35	福地禮衛生園の地
18	近藤長次郎	36	大浦慶

# Welcome to Nagasaki

## "SARUKU" Course Map

**1** さぐるコース/1  
**龍馬が見上げた長崎の空**  
 1.7km/140kcal

**2** さぐるコース/2  
**なごみの寺町散策①**  
 1.2km/98kcal

**3** さぐるコース/3  
**なごみの寺町散策②**  
 1.3km/102kcal

音のまちなみや  
 長崎ゆかりの  
 人物の写真等で  
 往時を偲ぶことが  
 できます。  
 4カ国語表記(日・英・中・韓)

ハタ掛けや  
 桜の季節の  
 お花見で  
 おなじみ。  
 展望台からの  
 眺めも最高

この階段道を  
 すっと登っていくと  
 風頭公園に  
 出られます。  
 健脚の人はぜひ!

寺町通りは、  
 永井荷風が  
 「世界でただ2つの  
 愛すべき道筋」と  
 バリの路地と並べて  
 絶賛した道

梵鐘は長崎市現存最古。  
 フリルのような波型の  
 ベル状デザインは必見。

安政元年(1854)19歳の福沢諭吉が  
 数カ月滞り、蘭学を学びました。

